

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部 局 名	産業経済部		
	課 名	産業振興課		
	係 名	商工振興係		
	記 入 者		電話(内線)	217

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	きものday結城開催				(3) 事業の 優先度	A	
(4) 総合計画での位置づけ					(6) 事業主体		市			
① 事業の区分	主要事業					(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)		
② 施策コード	35202		(総合計画掲載ページ 94 ページ)				会計区分	一般会計		
基本目標(政策)	3		歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)				財源区分	市単独		
基本施策	5		つちかわれた技術を継承する伝統産業の振興(伝統産業)				予算科目	款 7	項 1	目 3
施策			伝統産業の振興				予算書上の	観光振興事業		
施策内容			本場結城紬のPR				事業名称	(予算書 131 ページに掲載)		
(5) 事業期間					(8) 事務分類		自治事務			
	開始	平成	21	年	月から	根拠法令	単年度補助金交付要項(観光協会補助金の一部)			
	終了			年	月まで (力年)					

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象(だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿(意図・どのような状態になるのか)	
きもの愛好者や観光客	きものを着る機会の提供と、結城紬きものの着こちの良さや魅力を体験してもらうことで、和装文化の素晴らしさを実感してもらう。また、イベントを開催することで、中心市街地の賑わいを創出するためにも更なる観光誘客を図る。	
(2) 手段(事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)	
きものを着て結城の街並みを散策するイベントを開催する。結城市観光協会に対し事業費の一部を補助金として交付する。結城紬きものレンタル、ふらり結城紬着ごち体験、人力車乗車会、お休み処、まちかど広場及び演奏会、ワークショップなどを実施する。	きもの文化の衰退により、地場産業である結城紬の生産規模も減少していることから、きもの文化の発信のためイベント開催を行った。	
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	結城紬の生産反数は年々減少している。今後、産業の振興と結城紬のPRに向けて継続して実施していく。	

3. 事業コスト

行政評価 実施計画		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映	
● 予算内訳		実績額(千円)	当初予算額(千円)	計画額・見込額(千円)			
事業内容		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
(1) 事務事業費の コスト	市観光協会 実施事業	2,000	2,000				
	合計	2,000	2,000				
	国庫支出金(千円)						
財源	県支出金(千円)						
	地方債(千円)						
	その他特定財源(千円)						
	一般財源(千円)	2,000	2,000				
	合計(千円)	2,000	2,000				
補助・起債制度名							

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）									
指標の名称				単位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名	事前参加申込者数	目標値	日		8	8	8	8	
		実績(見込)値		9	8				
		目標値							
		実績(見込)値							
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名	当日きもの着用者数	目標値	日		8	8	8	8	
		実績(見込)値		9	8	8	8	8	
		達成率		112.5 %	100.0 %				
		目標値							
		実績(見込)値							
		達成率	%	%					
5. 事業評価									
(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。 イベント実施のため、参加料を徴収せず実施した。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価				理由					
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	産業の振興及び結城紬のPRを行う上で、必要性が高い。					
妥当性	実施主体の妥当性	B	どちらとも言えない	実行委員会のメンバーが、紬関係団体に構成されているが主導をとるメンバーがいないのが現状である。					
	手段の妥当性	C	見直す必要がある	実行委員のメンバーに市民団体を入れるなど見直す必要がある。					
効率性	コスト効率 人員効率	C	改善の余地がある	特定のメンバーに負担が大きく偏っている。					
公平性	受益者の偏り	B	どちらとも言えない	きものを着ていないと参加できないと思われるため、多くの市民や観光客が参加できるようにしていく必要がある。					
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	結城紬の魅力や発信において貢献はしているが、販路に結びついていないのが現状である。					
進捗度	事業の進捗	B	どちらとも言えない	年々参加者は増えつつあるが、きものを着ていない方への誘客方法も考えていかなければならない。					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。 イベントが着物を着ていないと参加できないと思われるため、きもの愛好家だけでなく、市民及び観光客が楽しめるイベント構成を考えていく必要がある。									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？ 北部市街地の自治会への協力依頼をし、お休み処(お茶のサービス)を設置するなどして、市民を巻き込んでいく。また、今まで人力車乗車会において、路線を決めずに実施していたが、路線を設定することで多くの方へ乗車できるようシフトしていく。また、参加料を徴収し抽選会の商品を増やし魅力あるイベントにしていく。									
6. 事業の方向性判断									
評価主体		27年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)			注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)			きものを着て街を散策するだけでなく、ワークショップの拡充や地元商店街の協力を得ながら、より多くの人が楽しめるイベントとして継続していく。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。				